

## 高齢者世帯に もしものときの安心



増戸地区在住の森田イトさん（96歳）は、元気で明るく生活しています。「持病の内容や緊急連絡先などが中に入っているので安心」と話しています。

「災害時、一人も見逃さない」。災害時に援護が必要な方の支援に取り組む町内会・自治会連合会では、「東京都地域の底力再生事業助成」を受け、75歳以上の高齢者のみの世帯に対し、救急医療情報キットを無料配布することになりました。キットは、かかりつけ医や緊急連絡先などを入れて冷蔵庫に保管し、救急の時に活用するものです。安全で安心して暮らすことのできるまちづくりが、地域で進んでいます。

### 救急医療情報キットが果たす役割

緊急時や災害時には、一人暮らしの高齢者などに支援が必要です。町内会・自治会連合会では、災害など万一のときに備える意識が地域や家族に浸透することにつながることを考え、東京都の補助金を利用して高齢者世帯に救急医療情報キットを活用する救急の仕組みをつくりました。緊急時に救急隊が駆けつけたときや近

所の方が発見したとき、キットに入れてある情報により、迅速で的確な救急活動が行えるようになります。

救急医療情報キットの活用は地域力を強化

町内会・自治会連合会では、未加入世帯の加入促進に努めています。救急医療情報キットの配布は、災害時に支援が必要な方を地域でも把握することができ、ご近所同士での支え合いの取り組みになりますので、

## 町内会・自治会で 救急医療情報キットを 無料で配布

地域力の強化につながるものと言えます。なお、増戸地区では、救急医療情報キットを「防災・安心地域委員会」の取り組みとして、東京都の補助を受けて昨年配布しています。

キットは、なぜ冷蔵庫に入れるのか  
冷蔵庫は、ほとんどの家庭にあります。通常台所に置かれ、探しやすい場所であるためです。

救急医療情報キットに入れるもの  
救急医療情報用紙  
緊急連絡先  
かかりつけ医  
緊急時、災害時の対応方法  
写真（本人が確認できるもの）

### 今号の主な記事

- 東京都知事選挙のお知らせ... 2面
- 市議会定例会が開催されます... 2面
- 生涯学習シンポジウム... 3面
- 森林レンジャーがゆく... 3面
- 図書館... 4面
- 教育・子ども相談... 5面
- 3月の市民相談、健康相談、乳幼児歯科検診... 6面



救急医療情報キット  
材質はプラスチック

### 世帯と人口

平成23年2月1日現在

世帯 33,219世帯  
人口 81,909人  
(前月比 7人減)  
男 40,996人  
女 40,913人

インします。キットの配布方法、町内会・自治会役員から、申込みをして登録された方に、無料配布されます。救急医療情報キットの内容と保管方法

キットの内容  
救急医療情報キット(筒状のプラスチック製の入れ物)  
ステッカー(キットがあることが分かるように、冷蔵庫と、玄関の内側に貼ります。)

救急医療情報キットの保管方法  
救急医療情報キットの保管方法は、冷蔵庫に保管し、情報は、原則として毎年更新します。災害時には可能な限り持ち出します。

町内会・自治会役員、秋川消防署で災害時要援護者としてキットに保管する情報を共有する同意書にサインを記入します。

「地域が連帯意識をもって、災害時などの援護が必要な方の支援の取り組みに最大限の努力をしています。このたびの救急医療情報キットを活用した取り組みにより、最低限の個人情報を共有しながら安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進したいと考えています。」